

## 塘研究室・兼子研究室現地調査報告

9月29日から10月2日まで、兼子さん、佐藤君（兼子研 M1）、大平君（塘研 D3）、塘の4名が韓国でのカニムシ・サンプリングに行ってきました。以下に簡単に報告します。

現地調査（2日目と3日目）は昌原市にある昌原大学校（Changwon National University）のChoi先生にアレンジして頂きました。予報では毎日雨でしたが、前線よりも北側の雨が降っていない場所まで長時間かけて車で連れて行って頂き、1ヶ所目から今回のターゲットであるチビコケカニムシを採集できました。この日は4ヶ所で調査し、そのうちの距離的にかなり離れた2ヶ所でチビコケを得ました。夜は光州広域市まで移動し、全南大学校（Chonnam National University）のLee先生の研究室の皆さんと夕食（と飲み会）をご一緒しました。3日目もChoi先生に雨が降っていない場所まで連れて行って頂き、2ヶ所でサンプリングをしました。2ヶ所目は多数のチビコケ（と *Allochthonius* 属のカニムシ）が採れ（ここではChoi先生も初のカニムシ採集に成功）、大満足で昌原市まで戻りました。結局2日間、6ヶ所の調査で少なくとも4種（大平君による簡易同定の結果）66個体を採集することができました。この日の晩はChoi先生に本物の（！）サムギョプサルをご馳走になりました。Choi先生には4日間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

調査地の植生はアマカツとミズナラの混交林が多く、クヌギ、サクラ類が混じるなど、日本でもおなじみの樹木が見られました。昆虫もノシメトンボ、マユタテアカネ、キタテハ、モンシロチョウ、ツバメシジミなど、日本との共通種が目立ちました。



最初の採集地（民家の直ぐ裏手）



3ヶ所目の採集地（アカマツ・ミズナラ林）



最初の調査地（3ヶ所）のサンプル処理



光州広域市にて2日目の夕食



最後の採集地（林道の入口付近）



昌原市での3日目の夕食（サムギョプサル）